

議会だより

まんのう

2013

平成25年8月1日発行

No.8



夕涼み会

2P 新体育館の壁に穴が

議会としてはどう動く

4P 議案採決結果

5P 7500万円を増額補正

6月定例会・第1回臨時議会の報告

8P 9人が町の考えを問う 一般質問

13P 膝を交えて 議会報告会

16P よみがえる廃校 議会からこんにちは

発行責任者 まんのう町議会議長 大岡克三

編集 まんのう町議会広報特別委員会

住所 香川県仲多度郡まんのう町吉野下430

電話 0877-73-0109 mail gikai@town.manno.lg.jp

対応を求む

新築体育館の壁に穴が

事の発端は4月16日の朝に、体育館の維持管理会社から壁に穴が開いていると報告があった。

通常の修繕を実施する予定だったが、その後、4月22日と23日に中学校の体育の授業においても、走ってきた生徒が止まりきれずに衝突した衝撃によって、穴が開き、陥没と凹みが合計6箇所になった。

翌24日に大成建設が補修をしたが、設計図を確認したところ、設計ではシナ合板の9ミリが、現場での使用材料は、ケイ酸カルシウム板の6ミリであることが判明した。

議会に対しては、5月24日の全員協議会で議員が質問するまでは報告がなかった。

後日、議員が質問して初めて、設計では9ミリの部材が、町に無断で6ミリの他部材に変更されていたことが判明した。

明らかな契約違反だ

大成建設は、当初予定していた部材が大震災の影響で生産中止になっていたために、6ミリのケイ酸カルシウム板に変更したという説明。まずもって、契約で町に無断での変更は許されないことと明記されている。



破損した体育館の内壁

さらにその後、全員協議会に出席した大成建設の設計部長は、9ミリのシナ合板を6ミリのケイ酸カルシウム板に変更した時点で耐力度計算を行っていないと発言。

また、9ミリの当初使用部材と同等品が当時の流通になかったのか
建設に詳しい人に聞いたところ、普通で考えて、体育館の壁が6ミリのケイ酸カルシウム板で持つとは到底考えられないと言っている。
議会としては、とてもではないが容認し兼ねる事態である。

理解のできないことばかり

・なぜ、町に無断で変更したのか。

・部材が震災の影響とあるが、同等製品は他に存在しないのか。

・なぜ、部材を変更する時に、強度調査を行っていないのか。

・4月15日に発覚し、6月24日まで議会（住民）に対して説明がなかったのはなぜか。

断固とした

大成建設に確認

今回の事態を受け、6月24日の全員協議会に、執行部の要請を受けた大成建設が出席。

そこにおいて。今回の事態になぜ起こったのかを質問したが、明確な答弁は帰ってこなかった。

また、今後の対応については、悪質な契約変更であるということから厳しい対応を議会としては求めていることとしている。

とりあえず、現在、決まっている事を下記に報告する。

・壁の補強はすべて大成建設グループが責任をもって行う。

・今後、第三者の専門家に調査を依頼し、その費用は大成建設グループが負う。

・調査結果で、他に改修が必要な場合も全額、大成建設グループが負う。

・町より違約金等の請求になった場合には真摯に対応する。

・PFI事業の本旨を理解して、民間の企業力を行政に提供する。

町民が納得できる対応が必要

今回の様な事態に至った原因として、町長以下執行部の対応は正す必要性があると考ええる。

・議会、特に特別委員会を設置していたにもかかわらず、多くの報告が無かった。

・モニタリングの要件を甘くする事を容認。

・担当部署（現在2人体制）だけでなく、全体で取り組むべきと言ったが改善が見られていない。

これまでの大成建設グループの対応をみれば、もっと厳しい対応が必要だったはずである。

複合施設事業は、まんのう町において類をみない、25年間で約80億円という巨額事業である。

未来を担う子供たちが学ぶ場所であり、緊急避難場所でもある。

この問題は、これらのことを考えても、議会として簡単に納得できるものではない。

契約にあたって、

「すべての責任をとります。」

と議会に明言した町長、並びに、議案に賛成した議会は、町民が納得できる対応をしていく事が何よりも必要である。

議案採決結果

議案名等	議員名			議席番号	16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	議決月日
	賛成	反対	議決結果	大岡 克三	川西 米希子	田岡 秀俊	合田 正夫	白川 正樹	本屋敷 崇	関 洋三	白川 年男	白川 皆男	大西 樹	藤田 昌大	三好 勝利	大西 豊	川原 茂行	高木 堅	欠		
平成25年(第1回)臨時会(5月10日)																					
議案第1号	専決処分の承認について (まんのう町税条例の一部改正について)			14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		5/10
議案第2号	専決処分の承認について(まんのう町国民健康保険税条例の一部改正について)			14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		5/10
議案第3号	教育委員会委員任命の同意について			14	0	同		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		5/10
	満濃中学校改築調査特別委員会の廃止について			10	4	可		×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○		5/10
平成25年(第2回)6月定例会(6月17日～26日)																					
議案第1号	まんのう町税条例の一部改正について			14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		6/26
議案第2号	まんのう町国民健康保険税条例の一部改正について			14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		6/17
議案第3号	まんのう町介護保険条例の一部改正について			14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		6/26
議案第4号	まんのう町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について			14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		6/26
議案第5号	平成25年度まんのう町一般会計補正予算(案)第1号			14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		6/26
議案第6号	平成25年度まんのう町水道事業会計補正予算(案)第1号			14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		6/26
議案第7号	まんのう町敬老祝い金に関する条例の一部改正について			14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		6/26
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について			14	0	同		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		6/17
	閉会中の継続調査について			14	0	可		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		6/26
				議席番号	16	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	

※可/可決 否/否決 認/認定 推/推薦 継/継続審査 同/同意 ○/賛成 ×/反対
 ※議長は可否同数の場合にのみ表決権を有します。〈議長 議席番号16番〉

議会に来てください

本町議会は、どなたでも傍聴できます。
 会議日程は、ホームページ、告知放送でお知らせしています。
 →詳しくは議会事務局へ ☎0877-73-0109

ご案内 次回の定例会は9月に開会予定です。



本会議の傍聴席(後方)

平成25年度6月定例会

7500万円を増額補正

国補助による全街路灯等のLED化、
元気交付金による上水道管路改修や
配水池災害対策など

6月定例会は、17日から26日までの会期で開き、
平成25年度6月補正予算や税条例の一部改正、報告
会で意見のあった敬老祝い金条例の一部改正などの
7議案を全会一致で可決承認しました。

平成25年度第1回臨時議会

第1回臨時議会を5月10日に行い、税条例の専決
処分の承認、教育委員会人事の同意、満濃中学校改
築調査特別委員会の解散が議題となりました。

25年度6月補正予算

会計名	補正額	総額
一般会計	6608.5万円	99億9908.5万円
特別会計 水道事業会計	922.1万円	3億9500.6万円

25年度6月補正の主な内容

事業名	目的別名	予算額
街路灯等LED照明導入調査及び委託費	総務費	約650万円
旧琴南授産施設の跡地利用整備費	総務費	約1350万円
やすらぎ荘管理運営事業費	民生費	約550万円
水道事業会計繰出金	衛生費	約4600万円
美霞洞温泉公園整備工事費	商工費	約3000万円
発達障がい児就学支援事業費	教育費	約300万円
PFI事業費	教育費	△約4400万円

6月定例会

総務費

ECOな町に

街路灯等LED照明導入調査及び委託費

環境省の補助金を受けて、町内にある街路灯・防犯等をLED照明に交換するための調査費用及び委託料。

(本屋敷委員)

なぜ調査が必要なのか。

さらに、調査後どのようにに交換する予定か。

(総務課長)

現在、役場で把握している街路灯が約100基、防犯灯が約500基あるが、その詳しい台帳がない。

今回、この事業でまずは台帳を整備したい。

交換は、台帳整備後、リース会社との契約を結び安価になった電気代の範囲内で整備していく。

故郷に住もう

旧琴南授産施設の跡地利用整備費

旧琴南授産所跡地に新規分譲地を計画。それにあたり、現在の石積みからコンクリート擁壁への変更、水道敷設等。

(田岡委員)

どれくらいの区画を考えているのか。

(総務課長)

まだ決まってはいるが、現在の予定では3区画ほどを考えている。



新しく整備する授産所跡地

民生費

快適な介護環境を

やすらぎ荘管理運営事業費

現在、正友会が指定管理する老人福祉施設やすらぎ荘（旧琴南町）に設置している介護用昇降浴槽を老朽化に伴い新しく新調する費用。

(川西委員)

リースと買取の両方を検討したのか。

(福祉保健課長)

検討した結果、現在の契約上は買取のほうが

良いと判断した。



現在の介護用昇降浴槽

衛生費

災害時の備えを

水道事業会計繰出金

災害時に水道水を確保するため、天神山配水池に緊急遮断弁を取り付ける。これにより、水道管が破損したときに流出を防ぐ事ができる。

(藤田委員)

天神山配水池の貯水量で何日くらい確保できるのか。

(水道課長)

天神山配水池に平均約900トンを貯水しており、災害時に約8日分を確保できる予定。



天神山配水池の委員会視察

農林水産費

無理な合筆では

地籍調査事業

(藤田委員)

字界変更で地番合筆により面積が広くなるが、問題はないのか。

(地籍調査課長)

土地所有者の要望により合筆した。

商工費

溪谷美をアピール

美霞洞温泉公園整備工事費

美霞洞温泉跡地利用として建物があった所を駐車場に整備し、道路側法面を改修する費用。

(大西樹委員)

駐車場だけになっていくが東屋も設置してはどうか。

(琴南支所長)

跡地検討委員会の答申にはそのような意見も出たが、庁舎内で検討した結果、駐車場を整備するだけの予算としている。



旧美霞洞温泉跡地

教育費

決め細やかな教育

発達障がい児就学支援事業費

新たに県から補助が出る事になったので、新たにもう一人の支援員を採用する。

（白川正樹委員）

現在2人を支援員として採用しているが、2人体制では不十分なのか。

（学校教育課長）

現在、発達障がい児は全町的に増加傾向にあり、それらの児童・生

徒に対応するためには3人体制が望ましいと判断した。

予算の減額

PFI事業費

3月予算に提案していたが、サービス減少による減額。

（白川正樹委員）

サービスの減少とあるが内容は。

（学校教育課長）

取りやめた雨水排水ポンプの電気代と電子私書箱廃止に伴う減額。

条例改正

子育て支援に

敬老祝い金条例の一部改正

改正

現在、100歳を越える人には毎年5万円を支給しているのを、100歳なった年だけの支給にする改正。

（田岡議員）

住民への説明責任として、子育て支援等にまわすなどの理由が要るのではないか。

（町長）

削減額は55万円であり、子育て支援においては今後検討する。

（本屋敷議員）

高齢者の中には子育て支援に回して欲しいという意見もある。
条例廃止なら約900万円になるが、それも検討しているのか。

（福祉保険課長）

敬老会など高齢者向け施策については、検討する必要がある。

【採決結果】

全会一致可決

第1回臨時会

議会全体で

満濃中学校改築調査特別委員会の廃止について

特別委員会内で廃止を賛成多数で可決したことにより、廃止するかどうかを決めた。

【討論】

【反対】 藤田議員

特別委員会として任務が果たせていないのではないか。図書館・旧校舎の解体、運動場の整備はこれからである。委員には今後も機能を十分発揮していただきたい。今の時期に廃止するのは反対である。

【賛成】 本屋敷議員

特別委員会だけに持たすのは荷が重い。議会全体で取り組んでいくべきである。全員協議会

で、全議員が内容を十分に承知し、吟味するべきであると考えるので、廃止すべきである。

【反対】 田岡議員

全ての工事完了は来年の3月の予定であり、現在課題が山積している。それに全員協議会は法的に正式の会議とはなっていない。議会全体でと言うことには賛成であるが、今の廃止には疑問が残る。

【賛成】 三好議員

校舎体育館も完成し、一応特別委員会としての初期の目的は達成できたと思う。今後のことは、議員全員で協議していくべきである。

【採決結果】

賛成多数可決

三原氏、再び

教育委員任命の同意について



三原教育委員長

三原教育委員の任期満了にともない、再度4年間の教育委員に任命することに同意を求めてきたもの。

【採決結果】

全会一致同意

議員が町の考えを問う

田岡 秀俊 議員

行政評価制度と決算他

川西米希子 議員

アレルギー対策の整備充実を他

関 洋三 議員

河川事故の防止対策他

三好 勝利 議員

町主催の叙勲者祝賀会を他

大西 豊 議員

町に無断で設計変更他

本屋敷 崇 議員

体育館の壁に穴があいた対応は

川原 茂行 議員

新たな自主水源の確保は

白川 正樹 議員

まんのう町に身体障がい者協会を立ち上げてはどうか他

藤田 昌大 議員

防災士の育成計画と今後の方針は他

田岡 秀俊 議員



・決算審査

問 行政評価制度と決算

「決算は終わった事だから…」ではない。公会計制度改革も始まり、決算により次年度の予算を考える事が重要である。また、基本計画・行政評価との関係も大切

である。行政評価制度、決算のあり方はどうなのか。

答 見直し、より充実させていく

(町長)

現在の事務事業評価制度は、「成果」という点で課題があり、本能的に見直す必要を感じている。また、実施

主体である町職員の意識改革、人材育成にも力を入れていく。決算においては総合計画と予算編成との関係が可能なシートを検討していく。

答 施策を継承し、発展させていく

(教育長)

様々な課題に、子どもたちが柔軟且つ適正に対応する力を身に付けさせることが重要と考える。また、大きな夢に挑戦しようという雰囲気をつくり、飛躍していった子どもたちが帰って来る、来なくなる社会を教育により創りたい。



・学校 教育

問 教育長 斉藤 教育長に方針を問う

アレルギー対策

問 研修会の実施
相談体制等の
整備充実を

近年、アレルギーを持つ子どもが増えている。学校等において対応、対策にどのように取り組むのか。

答 早急にマニュアル整備・対応策の検討

(教育長)

現在、エピペン（重症のアレルギー反応時

川西米希子 議員



に用いられる医薬品）の使用取り決めや、研修会等の実施はしていない。

早急にマニュアル整備や対応策を検討する。

また、教師等の基礎知識の充実に取り組んでいく。

・急ぐ、駐車場

問 安全な駐車スペースの確保を

高篠幼稚園は、年々園児が増加している。その為、駐車場の不足が深刻な問題となっている。町として、安全な駐車スペースの確保についてどう考え、どう取り組むのか。

答 隣接または近傍の用地確保を検討

(教育長)

混雑を解消する為に、駐車スペースの確保が必要。運動場の一部と玄関部分のロータリーを安全活用する。並行して、新たな駐車場として隣接の用地確保を検討していきたい。



高篠幼稚園の駐車場

・水難対策

問 河川事故の防止対策

梅雨時期や台風の大雨において河川の増水や池、そして出水などの転落事故防止対策をどのように考えているか。

答 安全協議を進める

(町長)

水難事故防止策については危険箇所を現地で検証し、各学校とも連絡を密にして予防啓

関 洋三 議員



発に務める。また、幹線水路の管理者とも早急に安全協議を進めていく。



増水した水路

・自治会加入を

問 自治会未加入者への対応は

自治会未加入者の割合はわかるのか。

また未加入者無くする手立てはあるのか。

答 連合自治会を通じて要請

(町長)

自治会未加入世帯に

については把握が出来ていない。

各地区の連合自治会を通して加入活動について要請を行うほか、加入推進の広報活動にも積極的に取り組む。

・告知放送

問 内容の見直しを

朝の放送がラジオ体操と重なることや、宣伝放送後にお悔やみ放送をしていることはいかなものか。

答 番組編成委員会を通して検討

放送の順序や内容については再度検討し、総合的な重要度による順序の見直しを番組編成委員会を通して検討していく。

三好 勝利 議員



・叙勲祝賀

問 町主催の叙勲者祝賀会を

各種団体の永年功労者への表彰や叙勲の祝賀会の開催への支援姿勢は。

答 前向きに検討したい

(町長)

県知事表彰は町から上申している。叙勲は、県が国へ上申するので、町は決定するま

で把握できない。

祝賀会は、地域住民の代表者が発起人となって慶祝のために開催されるのであり、賛同される方々によって経費負担が決められるものであるが、町としても前向きに検討していきたい。



県庁での表彰式の様子

・教育方針

問 現在の義務教育の課題は

元高校教師である教育長は、現在の小中学生

への指導をどのように考えているのか。

答 有意義な人生を送れる教育を

(教育長)

教育は将来を生きる力を育てるために、長い目で行うべき。

詰め込みとドリルだけでは本当の学力とまらない。

様々な能力と適性をもった生徒のために、多様で特色ある学校づくりをしたい。

進路選択は、成績や保護者の意向だけでなく、特性に基づいて有意義な人生を送れるよう、目的意識を持つて学ぶような指導力が求められると考える。

大西 豊 議員



・PFI事業

問 町に無断で設計変更

まんのう町は満濃中学校等の複合施設等整備事業をPFI事業で取り組み、大成建設グループが約81億5千万円で受注。

第一期工事が終了し4月1日より供用開始したが、体育館で生徒が内壁に当たり4月に3回破損、原因を究明したのか。

答 現在調査中

(町長)

現在、専門家の意見を聞きながら、設計変更に至った経緯などの事実確認、改修計画などを事業者に聞いていく。

報告があり次第議会に報告する。

問 モニタリングは機能しているのか

大成建設は地元企業の積極的活用、ノウハウの提供、地域の活性化等を提案するが、実施せず。

議会が町内企業の活性化のため4億円の直接発注の内、約2億円の土木工事関係2社の受注分は、県外業者等に再下請けさせ更に現場作業主任者は同じ役員に丸投げしている。

議会が指摘したコンプライアンスの諸問題、建設業法順守状況等について町独自のモニタリングを行い、減額すべきである。

答 モニタリングは機能している

(町長)

外部監査人でもある一級建築士にも立会いを依頼している等、要求水準にそった設計、施工が実施されていることについてのモニタリングは機能していると考える。



県外業者のトラック



本屋敷 崇 議員

・ずさんな工事

問 体育館の壁に穴があいた対応は
答 町民が納得できるように対応

答（町長） 今回、町としては体育館の壁の設計を9mmから6mm、さらには部材を変更したことも聞いていなかった。しかしながら町民の皆さんには心配をかけて本当に申し訳ない。

問 今回、新聞報道にもあったが、新築体育館の壁に穴があく事態になった。
何故このようなことになったのか。
その原因は、町民の財産を守るべき立場にある町長の姿勢に問題があると思うが、このような事態になったことを踏まえ、どのような対応をとるつもりか。

問 今後の対応としては、町民、議会の皆さんが納得できるように最大限努力する。



穴のあいた体育館の内壁



川原 茂行 議員

・水源確保

問 新たな自主水源の確保は
答 県に対して強く要望していく

問 現在、香川県は水源を早明浦ダムに依存している。町内水源もほとんどが満濃池である。新たな水源地の確保のために、ダム建設が必要不可欠と考えるかどうか。

答（町長）

現在、まんのう町で予定されていたダム計画は休止、または中止

現在、香川県は水源に近い休止の状態である。確かに現在の少雨、水不足を解消していくには、再びダムの可能性も必要と考える。それらを再び開発していくために、川原議員が県のほうから前向きな話があったということなので、担当課に早急に調査させる。



川原議員提案付近の河川

白川 正樹 議員



障がい者福祉

問 まんのう町に
身体障がい者協会を
立ち上げてはどうか

答 団体の組織化
を支援

各地区の身体障がい者の団体を統括し、社会参加や自立生活の促進

「琴南地区」「仲南地区」だけの団体ではなく「満濃地区」も合わせて、まんのう町で一つの団体になり活動の輪が広がるようになるのか。

進、社会生活の安全と福祉の増進等の活動を支援する事は必要と考える。

英語教育

問 小学校からの英語教育は必要か

まんのう町は26年度から全6校で低学年から実施する

予定であるが、英語力よりも先に正しい日本語を身に付ける学習の方が良いのではないか。

答 外国語教育は重要

日本語能力は当然のことであるが、世界に飛躍するための言語能力である英語を身に付けることは、大きな夢を現実とする可能性を与えると考えている。



かりん会館での英語教室の様子

藤田 昌大 議員



防災士育成

問 防災士の育成計画と今後の方針は

昨年、問題提起した防災士は、災害時に必要であるが、育成について、今後の方針はどうなっているのか。

答 全地区に配置できるように努力

(町長) 今後予想される災害時において、自助・共助の精神が大切であると考える。



ハザードマップについて県の防災士会長と

そのことから、地域の防災リーダーとしての防災士の育成は急務であると考えている。

今年度は現在10人程度の育成を予算化、しかし、要望が多い場合は増額も考えている。

今後、地域の協力をえながら、全地区に配置できるよう努力する。

学校評議員

問 学校評議員をいかに活用するのか

地域に開かれた特徴ある教育を推進する為に学校評議員会制度の活用をどうするのか。

答 検討課題である

(教育長)

現在、学校評議員は小・中・園全校で49名。

校長が推薦し教育委員会が委嘱しており、各校によって目標を定めている。

会議は、6月から7月にかけて第1回会議を行い、今後は会議を年2・3回実施して評議員会会の活用をはかる。

「いっぺん来てつか」

議会報告会の開催

もっと身近な議会になるために

座談会形式に

変更しました。



高篠コミュニティセンターの様子

一昨年より続けて来た議会報告会ですが、旧3町での報告会のアンケート等をうけて、もっとわかり易く、もっと身近な報告会にするために座

談会形式に変更しました。

5月8日から10日の3日間で町内6会場にて、議会報告会を行いました。

多くの町民の皆さんに参加いただき、座談会方式ということもあり、膝を交えた意見交換ができたように思います。今回、その意見交換の中から何点が紹介したいと思います。

議会は機能しとんな

問 採決結果を見ると全会一致ばかりだが、議会はチェック機能として機能しているのか。

答 今回はすべて全会一致

だが、議案によっては採決が分かれるものもある。各委員会にて十分に審議した結果である。

総務関係

財政はどんなんな

問 今後、交付税が約10億減ることだがそれに対する対策は。

答 基金を約40億円積んでいるが、今後は歳入にあわせた歳出とならざるをえない。

財源確保は考えとんな

問 議会として財源確保は検討してるのか。

答 県に対して、森林面積に応じた森林環境税の創設や70歳以上のゴルフ場利用税の非課税撤廃などを要望している。



仲南公民館の様子

もっと便利にならんな

問 三豊市のバスは琴平駅まで来ているが、デマンドタクシーは、何故町内だけなのか。

答 補助金の関係や他機関との調整が必要。

よう似た事業ばかりやな

問 自主防災組織とか見守り事業とか、ダブった事業のようだが、無駄ではないか。

答 もっと、分かりやすくならないか。

答 所管が総務課と福祉保健課で別であるが、地



吉野公民館の様子

域の絆を高め、助け合っていくことの必要性においてはどちらも重要であり、無駄な事業ではないと考える。

美霞洞温泉跡地はどうなるんだ

問 美霞洞温泉跡地利用をするように聞いていたが、3月予算に上がっていないがどうなっているのか。

答 予算化が必要になった時点で補正予算で対応する。(6月補正にて可決済み)

災害時の対応は大丈夫なんだ

問 今後、大きな災害が予想されるが、道路の寸断、避難所、備蓄品などの対応は大丈夫なのか。

答 町としては、現在、各支所・かりんの丘公園等に備蓄品を置いている。また、地域の防災力を高めるために、自主防災組織への補助、防災士育成の補助として予算をつけている。

今後、県のハザードマップが作成されてから、新たに防災マップを作成する予定。

教育民生関係

敬老会どうすんだ

問 昨年より、地元自治会による開催に方式が変わったが、あり方を見直し、高齢者施策から子育て施策にお金を回すべきではないのか。

問 昨年、変ったことにより地域のお年よりも参加しやすくなった。この方式を是非続けてほしい。

答 検討委員会の答申によつて、現在の方式を3年間継続した後、あり方も含め再度検討する予定となっている。

大川山交流施設はどう活用するんだ

問 大川山交流施設は今後どのように運営していくのか。

答 検討委員会が立ち上がっている。今後、大川キャンプ場と連携して子ども達の教育施設としての整備していきたい。

敬老祝金についてはどう思っとんだ

問 敬老祝金は、大切ではないか。

答 高齢者の中にも子育て支援の方に回してはという意見もある。

議会としては、現在の支給方法については見直していく必要があると考える。

最終処分場はどうなるんだ

問 平成26年3月で契約更新を迎える林ヶ谷の最終処分場(エコランド)の今後はどうするのか。

答 現在の埋め立て量が約50%であることから地元の皆さんの協力を得て契約を更新したい。



琴南総合センターの様子

総合こども園ってなんな

問 新聞報道にあった仲南地区の新しい幼稚園と保育所の統合施設とはどのようなものか。

答 場所は、現在の支所のあたりで検討中。運営にあたっては、検討委員会にて検討した

後、教育民生常任委員会でも話し合いをしていく。

高篠幼稚園の駐車場が狭いで

問 高篠幼稚園の駐車場が狭くて困っているのだが、なんとかならないのか。

答 高篠幼稚園が園児の増加により、送迎の駐車場が狭いのは議会でも聞いている。

今後、議会でも地元の理解を得られれば、整備を進めるよう話していく。

建設経済関係

道路の補修の順番はどうなっとん

問 現在、道路の補修を全町的に行っているがどのような順番で進めているのか。

答 補修の必要なところで、地元の理解が得られる緊急性の高いところから随時進めている。

公共下水の整備はせんの

問 高篠地域は、人口が増加傾向にあるが今後の公共下水の整備予定はあるのか。

答 現在、新たな計画はさられていない。合併浄化槽での対応をお願いする。



長炭なごみ館の様子

**次回の議会報告会は11月開催予定です。
まあいっぺん来てつが**



議会から こんにちは

よみがえる廃校

第2回目は、「旧琴南
東小学校の跡地利用」に
ついて紹介します。

平成21年から書道家
の樋笠幸三さんが、アト
リ兼教室として利用
を開始したことが始ま
り。

その後、地域の団体
「グリーンファーム琴
南」(代表者 兼若順二
さん)が食堂「ゆうゆう
亭」を開業。



名物「いのししラーメン」とおむすび

地域との 交流を

地域の憩いの場
所にしたいとの思
いで始めた「ゆうゆ
う亭」の人気メ
ニューはいのしし肉を
使った料理。

地域のお年寄りや町
外からもお客さんが来
て喜ばれている。

3人の先生は、毎年12
月に開催されている「土
器どきフェスタ」で、ア
ト教室を開催、作品展示
も行っている。

樋笠さんは、地域の皆
さんと普段からもって



私たちがお待ちしております。



制作中の瀬戸内さん

更なる交流を

交流ができればと話し
てくれた。

今回取材した、廃校か
ら始まる地域交流。

皆さんも是非一度足を
運んでみてください。



樋笠さんの書道教室

ゆうゆう亭

定休日:毎週水曜日
時 間:10:00~16:00
連絡先:090-5274-9343(兼携帯)

他のお問い合わせ

まんのう町役場企画政策課
連絡先:0877-73-0106

今号の表紙

今回の表紙は、町内
の幼稚園で行われた夕
涼み会の様子です。
それぞれの園も工夫
を凝らし、沢山の親子
連れでにぎわっていま
した。



あとがき

編集委員 白川 正樹

今回で8号です。7
号で紙面が大きく変り、
写真を多く取り入れま
した。お気づきになりま
したか。

まだまだ発展途上
ですが、前よりもずっと
読みやすくなったといっ
てくれるような紙面作
りを目指しております。

この議会広報を足が
かりとして、議会や町
政に興味を持っていた
ければ幸いです。
また一度、本会議場
にもお越しください。

議会広報特別委員会

- (委員長) 藤田 昌大
- (副委員長) 田岡 秀俊
- (委員) 白川 年男
- (委員) 本屋 敷崇
- (委員) 白川 正樹
- (委員) 川西 米希子